Panasonic

取扱説明書

ポータブルDVD／CDプレーヤー

品 番　**DVD-LX89**





このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（24 ～ 25 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

DVD ビデオのリージョン番号

発売地域別にディスクとプレーヤーに割り当てられた番号です。

本機の番号は「2」です。

「2」（または「2」を含むもの）と「ALL」が表示された DVD ビデオの再生が可能です。

（例）



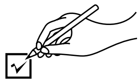
保証書別添付

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください。
(☞24 ～ 25 ページ)

付属品

付属品をご確認ください。



- 記載の品番は、2007 年 12 月現在のものです。品番は変更されることがあります。
- 買い替えは、サービスルート扱いです。以下の品番で、お買い上げの販売店へご注文ください。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。
また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

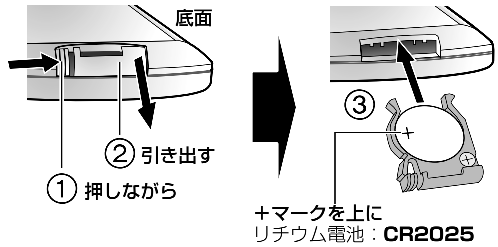
- ☐ **リモコン** （N2QAHC000026）
- ☐ **リモコン用ボタン電池** （買い替え時：☞ 下記）
- ☐ **映像・音声コード** （K2KC4CB00026）
- ☐ **AC アダプター** （RFEA217W）
- ☐ **電源コード** （K2CA2DA00009）
- ☐ **カー DC アダプター** （RFEC204M-AB）
- ☐ **バッテリーパック** （VUADBLX97）

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックグループのショッピングサイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

Pana Sense　http://www.sense.panasonic.co.jp

リモコンの準備

ボタン電池（付属）を入れる



電池を廃棄する場合は、不燃ゴミとして処理してください。
（または、地方自治体の条例に従ってください）

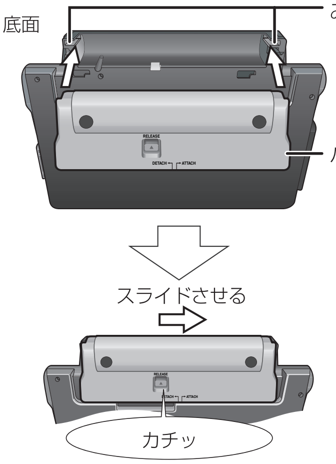
リモコンの使用範囲



電源の準備

❶ バッテリーパックの取り付け

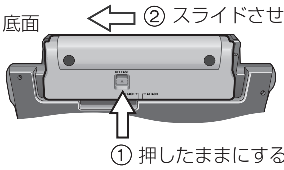
電源「切」状態（☞6 ページ , 本体で操作する）で行ってください。



確実に固定されていることを確認してください。

取り外し

● 取り外す前に本機の電源を切ってください。

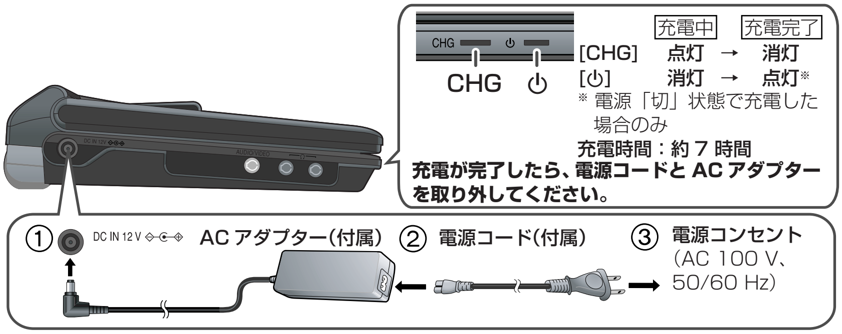


長時間使用しないときは

● バッテリーパックを取り外してください。（☞ 上記）
（電源「切」状態でも微少電流が流れて過放電になり、故障する恐れがあります）
● 再使用時は充電してからお使いください。

❷ 充電

お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。



● **電源コードと AC アダプターだけ、またはカー DC アダプター(付属)だけでも使えます**（☞5 ページ）。

節電のために
電源が切れた状態でも、約 0.3 W の電力を消費しています。
長時間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜くことをおすすめします。

充電時間と再生時間

充電時間※1	使用方法	再生時間※2			
		液晶画面の明るさ（BRIGHT）レベル			液晶画面「切」
		－5	0	5	
7 時間	DVD※3	13 時間	7 時間	5 時間	16 時間
	SD※3	13 時間	7 時間	5 時間	20 時間
	TV 受信	13 時間	7 時間	5 時間	20 時間

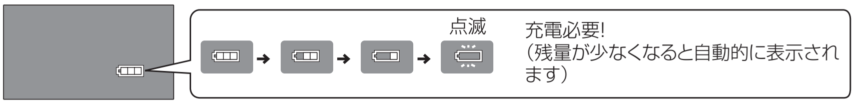
※1 電源「切」状態、20 ℃時
※2 室温・ヘッドホン使用時
※3 **省電力モード“オート”**時（☞18 ページ）
● 左記の時間は使用条件により異なります。
● 液晶画面の明るさを変えるには（☞13 ページ、“USER MODE” 選択時）

バッテリーパックの残量確認

バッテリーパックのみを使用中に表示されます。



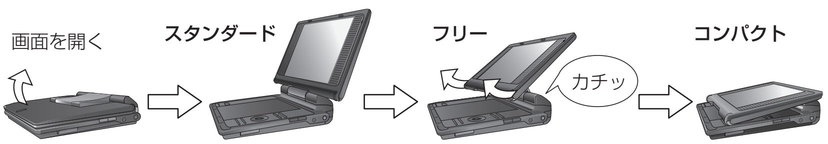
電源「入」状態で“DISC” 選択時（☞6 ページ）
押す



（液晶画面）　画面に数秒間表示されます。(残量のおおよその目安としてください)

● GUI 画面(☞16 ページ)が表示された場合、**[リターン]** を押すと、GUI 画面の表示が消えます。

画面の角度調整



● 画面を閉じた状態では、本機のボタンを押しても機能は働きません。

本機を移動させるときは
● 画面を閉じてください
● 画面を持たないでください

液晶画面について
0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが、故障ではありません。

再生できるディスクと SD カード

再生できるディスク

市販のディスク

ディスク名称 ディスクロゴ	本文中での表示	特徴
DVD ビデオ	DVD-V	映画や音楽など、高画質の市販ソフト
ビデオ CD	VCD	映像、音楽や音声が記録された市販ソフト ● SVCD（IEC62107 規格準拠）を含む
CD	CD	音楽や音声が記録された市販ソフト

■ 再生できないディスク
- ブルーレイディスク
- HD DVD
- AVCHD 方式で記録されたディスク
- AVCREC 方式で記録されたディスク
- DVD オーディオ
- ファイナライズしていない DVD-R、DVD-RW、DVD-R DL、+R、+RW、+R DL
- バージョン 1.0 の DVD-RW
- DVD-ROM、CD-ROM
- CDV、CD-G 、SACD、Photo-CD
- DVD-RAM [2.6 GB/5.2 GB、TYPE1（カートリッジから取り出せないもの）]
- DivX
- MPEG4
- Chaoji VCD（超級と呼ばれる市販の CVD、DVCD、SVCD）など
- PAL 方式で記録されたディスク

記録されたディスク （○：再生可 ×：再生不可）

ディスク名称 ディスクロゴ	再生できるファイル形式					ファイナライズ※4
	DVD レコーダーなどで記録されたディスク		パソコンなどで記録されたディスク			必要／不要
	DVD-VR※2	DVD-V※3	WMA	MP3	JPEG	
DVD-RAM	○	–	×	○	○	不要
DVD-R/RW	○	○	×	○	○	必要
DVD-R DL	○	○	×	×	×	必要
＋R/＋RW	×	(○)	×	×	×	必要
＋R DL	×	(○)	×	×	×	必要
CD-R/RW※1	–	–	○	○	○	必要※5

- 使用するディスク、記録状態、記録方法やファイルの作りかたにより再生できない場合があります。(☞19 ページ、パソコン等でファイルを作るときは)

※1 本機は、CD-DA およびビデオ CD フォーマットで記録された CD-R/RW を再生可能です。(WMA MP3 JPEG HighMAT ディスクも再生可能です)
※2 DVD レコーダー、DVD ビデオカメラなど VR (ビデオレコーディング) 規格 Ver.1.1（DVD-R DL の場合は Ver.1.2）で記録されたディスク
※3 DVD レコーダー、DVD ビデオカメラなど DVD ビデオフォーマットで記録されたディスク
+R、+RW、+R DL：
DVD ビデオフォーマットとは記録形式が異なるため、働かない機能があります。
※4 録音・録画したディスクを再生対応機で再生できるように処理すること。
※5 セッションクローズでも再生できるようになります。

再生できる SD カード

カード名称	本文中での表示	特徴
SD メモリーカード SDHC メモリーカード miniSD カード※ microSD カード※ ● 本書では上記カードのことを「SD カード」と記載しています。	SD PICTURE SD AUDIO	● SD PICTURE（静止画）当社製デジタルカメラで撮影あるいは当社製 DVD レコーダーで記録した JPEG データ [DCF (Design rule for Camera File system) 規格 Ver.1.0 準拠] ● SD AUDIO（音楽）当社製 DVD レコーダー、ミニコンポ、または SD-Jukebox で記録した AAC/MP3/WMA データ［SD Audio 規格準拠］ ● 本機では以下の容量（8 MB ～ 16 GB まで）の SD カードが使用できます。 SD メモリーカード：8 MB ～ 2 GB SDHC メモリーカード：4 GB ～ 16 GB 最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。 http://panasonic.jp/support/dvd/ ● 4 GB 以上のメモリーカードは、SDHC ロゴのある（SD 規格準拠）カードのみ使用できます。SDHC ロゴのない 4 GB(以上) のメモリーカードは、SD 規格に準拠していません。 ● 以下のような SD カードは、本機では再生できない場合があります。 – パソコンでフォーマットまたは記録した SD カード – パソコンでフォルダ名・ファイル名を変更した SD カード ● 本機は当社製デジタルカメラあるいは DVD レコーダーなどにより SD File System 規格 Ver 2.00 に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットした SD メモリーカード、および FAT32 形式でフォーマットした SDHC メモリーカードに対応しています。 ● 当社製 SD カードのご使用をおすすめします。 ● マルチメディアカードのご使用については、保証いたしません。 ● Motion JPEG、MPEG2 あるいは MPEG4 などの動画データは再生できません。 ● 使用する SD カード、記録状態、記録方法やファイルの作り方により再生できない場合があります。 ● 使用可能領域は表示容量より少なくなります。 ● 再生時の日付表示が実際に記録した日付と異なる場合があります。

※ miniSD カードおよび microSD カードを本機で使用する場合は、専用のアダプターに必ず装着してご使用ください。

車の中で楽しむ

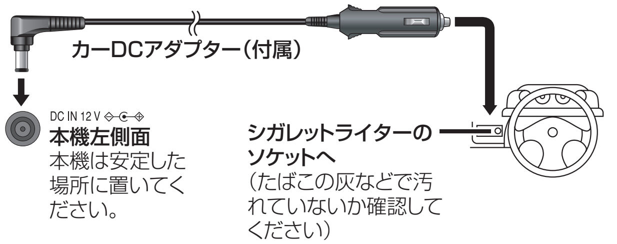
カー DC アダプター (付属) で楽しむ

(マイナスアース車専用)

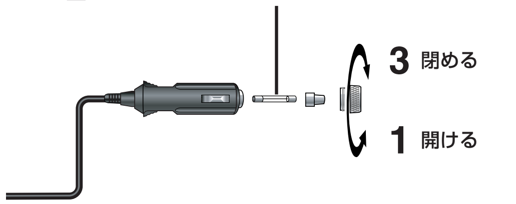
自動車内でお使いになるときは、運転中の方は操作しないでください。他の人が操作する場合でも、運転中の方の目に入らないようにしてください。

接続するには

- 詳しくは、ご使用の自動車の説明書をお読みになるか、販売店にご相談ください。
- 本機の電源を切ったあと、電圧 12 V のシガレットライターのソケットへ接続してください。(24 V には対応していません)



ヒューズを交換するには



- **カーバッテリーの消耗を避けるために**
  – 使用後はカー DC アダプターをシガレットライターのソケットから抜いてください。
  未使用時でも微少の電力を消費しています。バッテリーパック装着の場合、充電を開始して、さらに電力を消費します。
  – エンジン停止時は、カー DC アダプターで長時間使用しないでください。
- カー DC アダプターのコードは引っ張らないでください。
- エンジン停止前に本機の電源を切ってください。電源が入った状態でエンジンを停止した場合、レジューム再生（☞6、7、9 ページ) が働かない場合があります。
- 誤った取り付けをして発生した損害に対しては当社は一切の責任を負いません。

カーステレオ等で音声を楽しむ (FM トランスミッター)

本機からカーステレオ等の FM ラジオに音声を送信して、ディスク、SD カード、テレビ放送や接続した機器を楽しむことができます。

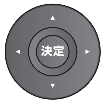
準備：ヘッドホンを本機から抜く
- 接続していると、FM トランスミッターは働きません。

1 **ディスク、SD カード、接続した機器を再生させる、またはテレビ放送を視聴する**（☞6、8、11、19 ページ）

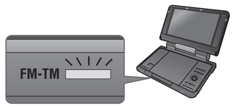
2 [FM-TM] **押してメニューを表示させる**

FM TRANSMITTER
→ ON ⁎OFF
⁎STEREO MONO
76.3 MHz

メニューが表示されない場合は、上記“準備”を確認してください。

3  **[▲▼] で項目を選び、[◀▶] で“ON”を選ぶ**

[FM-TM] ランプがオレンジ色に点灯します。



- **本機から音は出なくなります。**

4 **ラジオ側の FM 周波数を 76.3 MHz に合わせる**

他の FM 放送が聞こえるときは
☞ 下記、“うまくいかないときは”へ

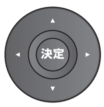
5 **ラジオ側で音量を調節する**

- FM トランスミッターを「切」にするには、[FM-TM] を押して [▲▼◀▶] で“OFF”を選ぶ。
- 画面を消すには、[FM-TM] を押す。

うまくいかないときは

本機を使用する場所によっては、他の FM 放送が聞こえることがあります。その場合は、周波数を変更してください。

1 [FM-TM] **押してメニューを表示させる**

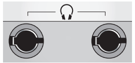
2 

① [▲▼] で周波数を選ぶ (お買い上げ時は“76.3 MHz”と表示)
② [◀▶] で、76.3 MHz ～ 89.7 MHz 間で放送局が使用していない周波数（通常ラジオを聞いているときに放送の入らない周波数) を選ぶ (0.1 MHz ずつ)

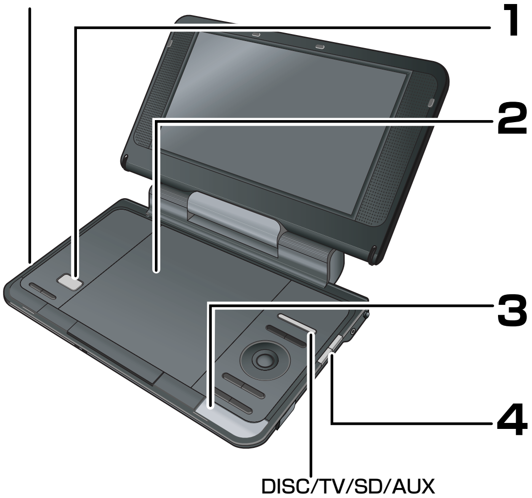
3 **手順 2 で設定した周波数に FM ラジオを合わせる**

雑音が入るときは、ラジオのアンテナと本機を近づけてください。または、メニュー画面表示中に［▲▼◀▶］で“MONO”を選んでください。改善されないときは、周波数を変更してください（☞ 上記、“うまくいかないときは”）。

ディスクを再生する

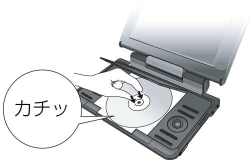


ヘッドホン端子 [🎧] どちらでも使えます
プラグタイプ：φ 3.5 mm ステレオミニプラグ



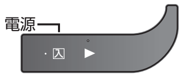


1 ふたを開ける



2 ディスクを入れ、ふたを閉める

- 両面ディスクは、再生したい側のラベルを上にしてください。
- DVD-RAM はカートリッジから取り出してください。
- 電源が入った状態でディスクを入れると、再生が始まるものがあります。



3 電源が入るまで押したままにする

再生が始まります。

- “DISC”以外が表示されたときは、[DISC/TV/SD/AUX] で“DISC”を選んでください。



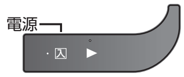
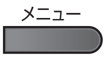
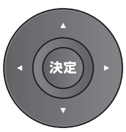
4 音量を調節する

- ヘッドホン（別売）で楽しむ場合は、接続前に音量を下げてください。

- 番組（DVD-VR）が記録されている DVD-RAM 内の写真（JPEG）や音楽（MP3）を再生するには、“データディスクとして再生”を選んでください（☞17 ページ、その他のメニュー）。
- **停止状態で約 15 分（バッテリーパック使用時は約 5 分）経過すると自動的に電源が切れます（オートパワーオフ）。**
- +R、+RW では、総タイトル数が正しく表示されないことがあります。
- 困ったときは、「故障かな！？」（☞22 ～ 23 ページ）をご覧ください。

メニュー画面表示中はディスクが回っています。再生しないときは [■ － 切] で止めてください。

本体で操作する

	電源入・再生	電源「切」時：押したままにすると電源が入り、再生が始まる。 電源「入」時：押すと、再生が始まる。
	一時停止	[・ 入 ▶] で通常再生に戻る。
	停止	“再生ボタンで続きから再生します。”表示中は、停止位置が記憶されています。 ● メッセージ表示中に [・ 入 ▶] を押すと、停止位置から再生（**レジューム再生**）。 ● メッセージ表示中に [■ － 切] を押すか、ふたを開けると、停止位置の記憶は解除。
	電源切	押したままにすると“OFF”が表示され、電源が切れる。
	スキップ	項目を飛び越す。 ● DVD-VR マーカーにもスキップします。
	早送り・早戻し（再生中）	押したままにすると、5 段階で速くなる。 [・ 入 ▶] で通常再生に戻る。
	スロー再生（一時停止中）	DVD-VR DVD-V VCD 押したままにすると、5 段階で速くなる。 [・ 入 ▶] で通常再生に戻る。 ● VCD [▶▶I] のみ
	トップメニュー	DVD-V
	再生ナビ	DVD-VR（☞15 ページ）
	再生コンテンツメニュー	WMA MP3 JPEG（☞14 ページ）
	メニュー	DVD-V
	プレイリスト再生	DVD-VR（☞15 ページ）
	ナビメニュー	WMA MP3 JPEG（☞14 ページ）
	リターン	前の画面に戻る。 ● VCD（プレイバックコントロール付き） メニューに戻る。
	メニュー操作	[▲▼◀▶] で選び、[**決定**] を押す。
	コマ送り・コマ戻し（一時停止中）	DVD-VR DVD-V VCD [◀▶] でコマ送り・コマ戻し。 ● VCD [▶] のみ
	グループスキップ	WMA MP3 JPEG [▲▼] でグループを飛び越す。 ● 一時停止中には働きません。

リモコンで操作する

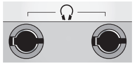
（機能名が同じボタンは本体と同じ働きをします）

電源 [⏻]	電源入／切	**バッテリーパック使用時は、リモコンで電源を入れることはできません。**
再生 [▶]	**再生**	押すと、再生が始まる。
停止 [■]	**停止**	押すと、再生が停止する。 ● [**▶ 再生**] を押すと、停止位置から再生。 ● 停止位置の記憶を解除するには（☞6 ページ、レジューム再生）。
[I◀◀] [▶▶I]	**スキップ**	項目を飛び越す。 ● **DVD-VR** マーカーにもスキップします。
[◀◀] [▶▶]	**早送り・早戻し（再生中）**	5 段階で速くなる。 [**▶ 再生**] で通常再生に戻る。
	スロー再生（一時停止中）	**DVD-VR** **DVD-V** **VCD** 5 段階で速くなる。 [**▶ 再生**] で通常再生に戻る。 ● **VCD** [▶▶] のみ
[1] [2] [3] [4] [5] [6] [≧10] [7] [8] [9] [0]	**番号入力**	**DVD-VR** **DVD-V** **VCD** **CD** 例）12：[≧10] → [1] → [2] **WMA** **MP3** **JPEG** 例）123：[1] → [2] → [3] → [決定]
AVセレクト [ ]	DISC/TV/SD/AUX **切り換え**	押すたびに切り換わる。

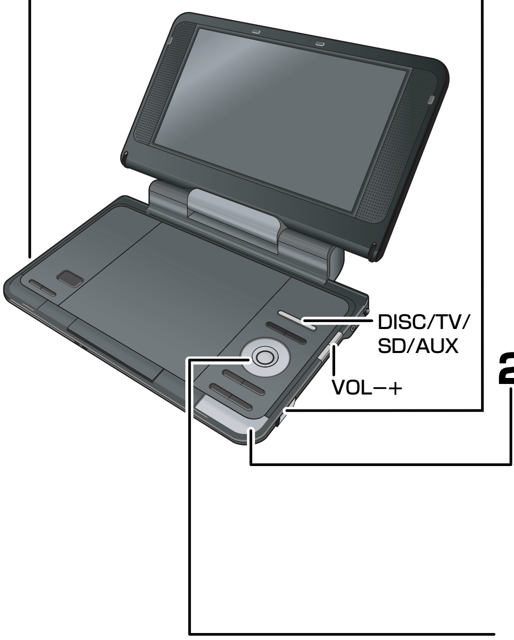
SD カードを再生する

大切なデータを保護するために、“カード読み込み中 ...” 表示中や操作の途中に SD カードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。データが破壊されることがあります。

本機では、8 MB 〜 16 GB までの SD カードが使用できます（☞4 ページ）。



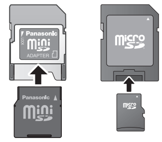
ヘッドホン端子 [🎧] どちらでも使えます
プラグタイプ : φ3.5 mm ステレオミニプラグ



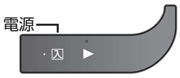
1 ❶ **カバーを開ける** ❷ **SD カードを入れる** ❸ **カバーを閉める**



miniSD カードや microSD カードは、必ず専用のアダプターに装着し、アダプターごと出し入れしてください。



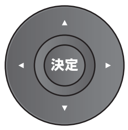
2



電源が入るまで押したままにする
自動的に再生が始まります。
- “SD” 以外が表示されたときは、[DISC/TV/SD/AUX] で “SD” を選んでください。SD カードメニューが表示されます。



3



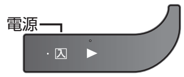
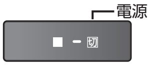
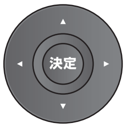
[▲▼] で “SD ピクチャー” または “SD オーディオ” を選び、[決定] を押す
再生が始まります。
- SD AUDIO 音量を調節してください。

- 停止状態で約 15 分(バッテリーパック使用時は約 5 分)経過すると自動的に電源が切れます （オートパワーオフ)。
- 困ったときは、「故障かな！？」(☞22 〜 23 ページ）をご覧ください。

SD カードを取り出すには

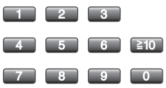
SD カード中央部を押してロックを解除し、まっすぐ引き出す

本体で操作する

	電源入	押したままにすると電源が入り、自動的に再生が始まります。 ● “SD” 以外が表示されたときは、[DISC/TV/SD/AUX] で “SD” を選んでください。SD カードメニューが表示されます（☞8 ページ）。
	一時停止	[• 入 ▶] で通常再生に戻る。
	停止	“再生ボタンで続きから再生します。” 表示中は、停止位置が記憶されています。 ● メッセージ表示中に [• 入 ▶] を押すと、停止位置から再生 (**レジューム再生**)。 ● メッセージ表示中に [■ − 切] を押すか、SD カードを取り出すと、停止位置の記憶は解除。
	電源切	押したままにすると “OFF” が表示され、電源が切れる。
	スキップ	項目を飛び越す。
	早送り・早戻し （再生中）	SD AUDIO 押したままにすると、5 段階で速くなる。 [• 入 ▶] で通常再生に戻る。
	SD カードメニュー	☞14 ページ、項目を順番に再生する（SD カードメニュー）
	ナビメニュー	☞14 ページ、項目を選んで再生する（ナビメニュー）
	リターン	前の画面に戻る。
	メニュー操作	[▲▼◀▶] で選び、[**決定**] で決定する。
	グループスキップ	SD PICTURE [▲▼] でグループを飛び越す。

リモコンで操作する

（機能名が同じボタンは本体と同じ働きをします）

	電源入／切	**バッテリーパック使用時は、リモコンで電源を入れることはできません。**
	再生	押すと、再生が始まる。
	停止	押すと、再生が停止する。 ● [▶ **再生**] を押すと、停止位置から再生。 ● 停止位置の記憶を解除するには（☞ 上記、レジューム再生）。
	スキップ	項目を飛び越す。
	早送り・早戻し （再生中）	SD AUDIO 5 段階で速くなる。 [▶ **再生**] で通常再生に戻る。
	番号入力	例）123：[1] → [2] → [3] → [決定]
	DISC/TV/SD/AUX 切り換え	押すたびに切り換わる。

テレビ放送を楽しむ

- 本機では、地上デジタル放送（ワンセグ）を視聴することができます。
- アナログ放送は受信することができません。

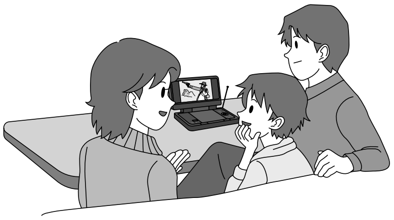
ワンセグとは

- ワンセグ（地上デジタルテレビ放送１セグメント部分受信サービス）とは、携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送で、ＵＨＦ電波を使い、屋外を移動しながらでも映像と音声、さらにデータ放送を楽しめるのが特長です。(本機はデータ放送および緊急警報放送の受信には対応していません)
  2006 年４月１日より、ＮＨＫおよび民放各社からサービスが開始されています。(お住まいの地域によっては、サービスが開始されていない地域もあります)
- 画面が小さい携帯端末用の放送サービスのため、画質が粗く感じられたり、映像の動きがなめらかでなかったりすることがあります。
- ワンセグについて詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
  社団法人 デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp

本機で受信できる放送について

本機は、使用する場所で受信できる放送を自動的に検索し、チャンネル設定することができます。また、設定されたチャンネルのリストを保存する場所として“ホーム”“おでかけ”の２種類があります（それぞれ 18 局まで設定可能）。例えば、自宅周辺で受信した放送のチャンネルリストを“ホーム”に、滞在先で受信した放送のチャンネルリストを“おでかけ”に保存するなど、使い分けると便利です。（☞ 右記、“チャンネルを設定する”）

自宅で使用→“ホーム”　**滞在先で使用→“おでかけ”**



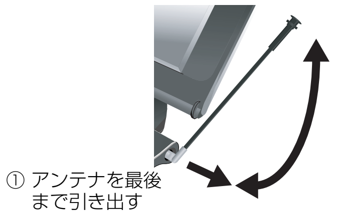
移動中の使用については、本機にあらかじめ地域別に登録されているチャンネルリストから視聴することをおすすめします。チャンネルを設定して視聴するより時間がかからないので、素早く視聴できます。(☞11 ページ、“地域を指定して番組を視聴する”)

移動中の使用→“地域”



準備

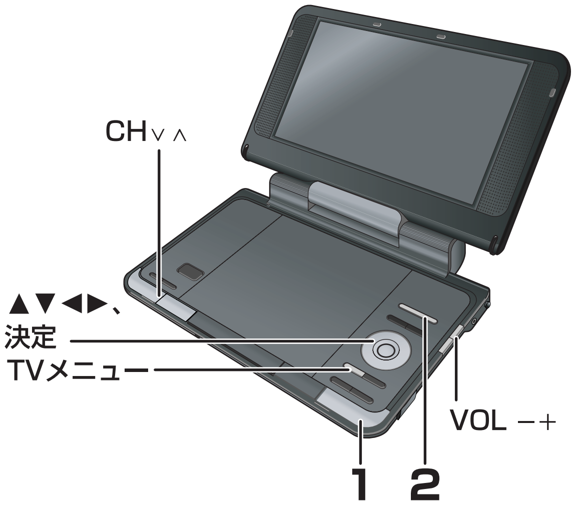
ホイップアンテナを引き出し、向きを調節する

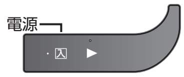


- テレビ放送をご覧にならないときは、アンテナを本機に収納してください。
- 画面がきれいに映らないときは、屋外アンテナと接続することをおすすめします (☞19 ページ)。

チャンネルを設定する

この操作は、アンテナを調節した後 (☞ 左記) に行ってください。

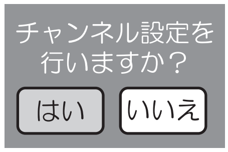


1 

電源が入るまで押したままにする

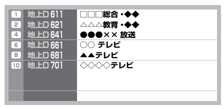
2 

数回押して“TV”を選ぶ

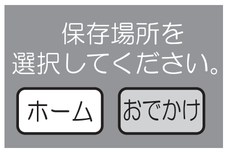
3 

[◀▶] で“はい”を選び、[決定] を押す

受信できる放送を自動的に検索します。
- 検索にかかる時間は地域や受信状況によって異なります。
- 左記の画面が表示されない場合は（☞ 下記、“チャンネルを設定し直すには”）。

4 

設定されたチャンネルのリストを確認し、[決定] を押す

5 

[◀▶] で保存場所を選び、[決定] を押す

- 電源を切っても、設定は保持されます。同じ場所で使う場合、設定は不要です。
- 電波状況により、設定できなかったり、受信状態が悪い放送が設定されたりする場合があります。

■ **チャンネルを追加するには**

① テレビ放送を受信中、“サーチ中”が表示されるまで [CH∨∧] を押したままにする（リモコンの場合は [CH サーチ ∨∧] を押す）
検索を開始します。検索が終わると、最初に受信した放送を選局して止まります (設定済みの放送も受信します)。
② 追加したい放送が表示されるまで手順①を繰り返し、表示されたら [決定] を押す
③ [◀▶] で“はい”を選んで [決定] を押す

■ **チャンネルを削除するには**

① テレビ放送を受信中、[CH∨∧] を押して（リモコンの場合は [チャンネル ∨∧] を押して）削除したいチャンネルを選ぶ
② 削除したいチャンネルが表示されたら、リモコンの [取消し] を押す
③ [◀▶] で“はい”を選んで [決定] を押す

■ **チャンネルを設定し直すには**

① [TV メニュー] を押してメニュー画面を表示させる
② [▲▼] で“チャンネル設定”を選んで [決定] を押す
③ 上記“チャンネルを設定する”の手順３～５を行う

番組を視聴する

- 放送されていない地域では、受信できません。
- 周囲の環境、本体を置く場所や向き、電波状況によっては、以下のような現象が生じる場合があります。
  – 映像が乱れたり、止まったりする
  – 音声が出なくなる
  – 放送を受信できなくなる

準備
10 ページ手順 1 ～ 2 で、テレビ画面を表示させる
この操作は、チャンネル設定後（☞10 ページ）に行ってください。

1 

押してチャンネルを切り換える

- 選択中のチャンネルリスト（“ホーム”“おでかけ”“地域”）内に設定されているチャンネルが切り換わります。
- 選択中のチャンネルリストを確認するには（☞12 ページ、“チャンネルの情報を表示する”）。
- **チャンネルリスト（“ホーム”“おでかけ”“地域”）を切り換えるには（☞ 右記“チャンネルリストを切り換える”）。**
- リモコンの番号入力 (☞7 ページ）でチャンネルを切り換えることもできます。
  例）12 : [≧10] → [1] → [2]

■ 番組情報／チャンネル表示
画面上部に以下の表示が出ます



番組情報

↓ 5 秒後



チャンネル表示

↓ 5 秒後

表示消灯

- [CH 表示] で“入”を選んだ場合、チャンネル表示は消灯されません (☞12 ページ、“チャンネルの情報を表示する”)。

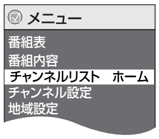
2 

押して音量を調節する

チャンネルリストを切り換える

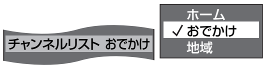
1 

[TV メニュー] を押してメニュー画面を表示させる

2 

[▲▼] で“チャンネルリスト”を選び、[決定] を押す

3 [▲▼] で視聴したいチャンネルリストを選び、[決定] を押す



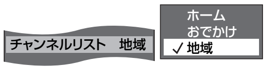
- **ホーム：** チャンネルを設定して番組を視聴する場合 (☞10 ページ)
- **おでかけ：** チャンネルを設定して番組を視聴する場合 (☞10 ページ)
- **地域：** 地域を指定して番組を視聴する場合（☞ 下記）

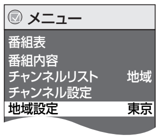
- 画面を消すには、[リターン] を押す。

地域を指定して番組を視聴する

車や電車の移動中など、本機を使用する場所が一定しない場合におすすめします。[このような場合にチャンネル設定(☞10 ページ)を行うと、電波状態が刻々と変化するため、場所によっては、本来その地域で視聴できるチャンネルを設定できないことがあります]

1 “チャンネルリストを切り換える”(☞ 上記) の手順３で、“地域”を選び、[決定] を押す

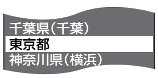


2 

[▲▼◀▶] で“地域設定”を選び、[決定] を押す

3 

[▲▼] で本機を使用している場所に該当する地方を選び、[決定] を押す

4 

[▲▼] で本機を使用している場所に該当する地域を選び、[決定] を押す

- 本機を使用している場所に該当する地域が登録されていない場合は、同じ都道府県や近郊の地域を選んでください。
- 画面を消すには、[リターン] を押す。

5 左記の手順にしたがって視聴する

- 電源を切っても、設定は保持されます。
- チャンネルの追加や削除はできません。

チャンネルリストの“地域”に登録されているチャンネルについて

- 2007 年 12 月現在、まだワンセグサービスが開始されていないチャンネルも登録されています。サービス開始までは視聴できません。
- ワンセグサービスのすべての放送エリアに対応しているわけではありません。また、登録されているチャンネルでも受信できない場合があります。

安定した視聴のために、移動しないときは通常のチャンネル設定を行ってください。（☞10 ページ）

テレビ放送の便利な機能（テレビ放送視聴中のみ）

画面の表示サイズを変える

押して切り換える

LCD− サイズ

MONITOR NORMAL：　最大サイズで表示
MONITOR SMALL：　縮小して表示
字幕が画面の外に表示されて見やすくなります
MONITOR OFF：　映像なし

- 液晶画面を使わないときは節電のため、“MONITOR OFF”にすることをおすすめします。([⏻] ランプが点滅)
- 液晶画面を閉じると自動的に“MONITOR OFF”になります。
- 上下左右に黒帯のある映像をフル画面で表示させることはできません。

液晶画面の画質を選ぶ

☞13 ページ

チャンネルの情報を表示する

押して表示を入 / 切する

CH 表示

画面右上に表示されます。

チャンネル表示

4 地上D 641　→ 5 秒後 →　4 地上D 641

電波状態表示
本数（3 本まで）が多いほど、受信状態は良好です。

チャンネルリスト表示
選択中のチャンネルリストが表示されます。

ホーム　または　おでかけ　または　地域

チャンネルリストを表示する

押して表示を入 / 切する

CHリスト

チャンネルを切り換える場合は、[▲▼] で選び、[決定] を押す。

- 画面を消すには、[リターン] を押す。

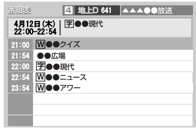


番組表を表示する

番組表 アングル

押す

（リモコン）



視聴中のチャンネルの番組一覧が表示されます。また、[▲▼] で選び、[決定] を押すと、選択した番組の内容（☞ 下記）が表示されます。

- 画面を消すには、[リターン] を押す。

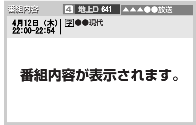
視聴中の番組内容を表示する

再生モード 番組内容

押す

（リモコン）

- 画面を消すには、[リターン] を押す。



字幕を切り換える

字幕

（リモコン）

押して字幕言語を切り換える

字幕 1 ←→ 字幕 2

字幕　1

または

押して字幕表示を入 / 切する

切 ←→ 入

字幕　入

- 字幕“入”でも、字幕のない番組では、字幕は表示されません。

音声を切り換える

音声

（リモコン）

押して切り換える

音声 1

- 切り換えのできる音声がある番組のみ

(二重音声放送の場合)
主 → 副 → 主+副 →（主に戻る）

(複数音声放送の場合)
音声 1 → 音声 2 →（音声 1 に戻る）

(二重音声＋複数音声放送の場合)
音声 1 主 → 音声 1 副 → 音声 1 主+副 → 音声 2 主 → 音声 2 副 → 音声 2 主+副 →（音声 1 主に戻る）

メッセージ表示一覧（テレビ放送視聴中のみ）

本機では、操作の確認のためや正常な操作が行われなかった場合に、下記のようなメッセージが表示されることがあります。

圏外のため、受信できません。(E202)	受信圏外、あるいは受信状態が悪いため、選んだ放送は受信できません。受信できる状態になると、自動的に放送を受信します。
現在、受信できません。(E203)	放送を休止している、あるいは受信するために必要なデータが取得できていないため、選んだ放送は受信できません。受信できる状態になると、自動的に放送を受信します。
番組データがありません。	番組に関するデータが未取得のため、番組表や番組内容を表示できません。受信可能な放送であれば、数秒～数分でデータを受信します。
チャンネルが設定されていません。[TV メニュー] を押してチャンネル設定を行ってください。	使用中のチャンネルリストにチャンネルが設定されていません。チャンネル設定を行ってください。(☞10 ページ)
A/V OUTPUT PROTECTED	外部機器に出力できない放送です。

再生の便利な機能

液晶画面での４：３映像の表示方法を選ぶ

押して切り換える

LCD− サイズ

MONITOR NORMAL：　ノーマル (4:3 映像で表示)

MONITOR FULL：　左右にのびる

MONITOR OFF：　映像なし

- 液晶画面を使わないときは、節電のため“MONITOR OFF”にすることをおすすめします。([⏻] ランプが点滅)
- 液晶画面を閉じると自動的に“MONITOR OFF”になります。

液晶画面の画質を選ぶ

周囲の明るさに応じて、適切な画質に切り換えます。

押して切り換える

明るさ−LCD

DAYLIGHT：　周囲が明るいとき

MOONLIGHT：　周囲が暗いとき

USER MODE：　☞ 下記

■“USER MODE”選択時

[▲▼] で項目を選び、[◀▶] で設定する

BRIGHT：　画面の明るさ (− 5 〜 5)

COLOR：　色の濃さ (− 5 〜 5)

- 画面を消すには、[リターン] を押す。

音声

動画ディスクにのみ働きます

音声

押して切り換える

（リモコン）

例：DVD-V

メニュー
音声　1

- DVD-VR “L”（左）、“R”（右）、“L R”（左右）のいずれかを選べます。
- VCD “L R”（左右）、“L”（左）、“R”（右）、“L ＋ R”（左右チャンネルの音声をミックスしてモノラル音声として出力）のいずれかを選べます。
- DVD-V（カラオケディスク）
  ① [▲▼] で、“ボーカル”を選ぶ
  ② [決定] を押した後、[◀▶] で項目を選ぶ
  詳しくはディスクのジャケットなどをご覧ください。

音声属性の表示

LPCM/ꟷꟷ Digital/DTS/MPEG：信号タイプ

kHz：サンプリング周波数

bit：ビット数

ch：チャンネル数（GUI 画面では下記のように表示されます）

3 / 2 .1

.1 ：LFE※あり（ない場合は、表示されません）

0 ：サラウンド信号なし

1 ：サラウンド信号（モノラル）あり

2 ：サラウンド信号（ステレオ）あり

1 ：センターのみ

2 ：フロント（L ／ R）のみ

3 ：センター＋フロント（L ／ R）

※LFE（Low Frequency Effects（ロー フリケンシー エフェクツ））：低域強調チャンネルのこと。

- 画面を消すには、[リターン] を押す。

字幕

字幕が記録されたディスクにのみ働きます

字幕

（リモコン）

DVD-V VCD

押して切り換える

例：DVD-V

メニュー
字幕　◀ 入 ▶

- 字幕の入／切は [◀▶] を押す。
- +R、+RW では、字幕が記録されていないディスクでも字幕番号が表示されることがあります。

DVD-VR（字幕の入／切情報を含むディスク）

押して、入 / 切する

– 字幕の入 / 切のみ切り換えることができます。
– 当社製 DVD レコーダーは字幕の入／切情報を記録できません。

- 画面を消すには、[リターン] を押す。

アングルの切り換え 画像回転

アングルの切り換え：DVD-V
アングルが複数記録されているディスクにのみ働きます

画像回転：JPEG SD PICTURE

アングル

（リモコン）

再生中に押して切り換える

例：DVD-V

メニュー
アングル　1 / 4

- 画面を消すには、[リターン] を押す。

再生状況を確認（クイック OSD）

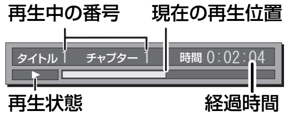
[DISC/TV/SD/AUX] で“DISC”または“SD”選択時のみ表示

■ ディスクの再生状況を表示するには

画面表示

２回押す

例：DVD-V

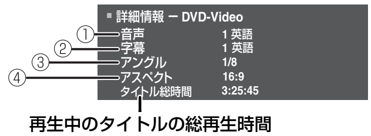


■ ディスクの詳細情報を表示するには

画面表示

３回押す

例：DVD-V



① 音声（☞ 左記）
② 字幕（☞ 左記）
③ アングルの切り換え（☞ 上記）
④ ディスクに記録された映像の縦横比

- 画面を消すには、[リターン] を押す。

メニュー画面を使った CD・CD テキストの再生

CD

1 メニュー　押す

例:CDテキスト



操作ガイドと再生状況表示を切り換えるには[画面表示]を押す。

2 [▲▼] で曲を選び、[決定] を押す

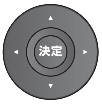
- 画面を消すには、[リターン] を押す。

写真（JPEG）や音楽（WMA/MP3）の再生

WMA **MP3** **JPEG**

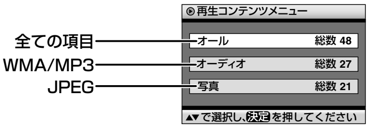
以下の場合、“その他のメニュー”で“データディスクとして再生”を選んでください（☞17 ページ）。
– HighMAT 規格で記録されたディスクを HighMAT 機能を使わずに再生する
– 番組（DVD-VR）が記録されている DVD-RAM 内の写真（JPEG）や音楽（MP3）を再生する
- 番組（DVD-VR）再生に戻るには、“その他のメニュー”で“DVD-VR として再生”を選んでください（☞17 ページ）。

項目を順番に再生する（再生コンテンツメニュー）



メニュー画面表示中

［▲▼］で“オール”、“オーディオ”、“写真”を選び、［決定］を押す

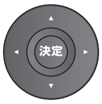


- 画面の入 / 切は、［トップメニュー］を押す。

項目を選んで再生する（ナビメニュー）

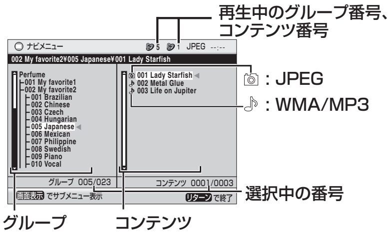
1 

押す

2 

［▲▼◀▶］でグループを選び、［決定］を押す

3
- **グループ内のコンテンツを順番に再生するには**
  ［決定］を押す
- **コンテンツを選んで再生するには**
  ［▲▼］でコンテンツを選び、［決定］を押す



- 画面を消すには、［メニュー］を押す。

■ **JPEG 画像を見ながら、WMA/MP3 を楽しむには**

JPEG コンテンツを選び、WMA/MP3 コンテンツを選ぶ。（逆の順序では、できません）

■ **サブメニューを使う**

（表示される項目はコンテンツによって異なります）

① ナビメニュー（☞ 上記）表示中、［画面表示］を押す
② ［▲▼］で項目を選び、［決定］を押す

✓マルチ	グループとコンテンツを同時に表示
リスト	コンテンツを表示
ツリー	グループを表示
サムネイル	サムネイル画面（画像の一覧）を表示 JPEG
✓オール	全ての項目を表示
オーディオ	WMA ／ MP3 コンテンツのみ表示
写真	JPEG コンテンツのみ表示
✓ヘルプ表示	操作ガイドと再生状況表示の切り換え
検索	タイトルを検索して再生（☞ 右記）

■ **タイトルを検索して再生するには**

- ローマ字入力すると、その語句を含むタイトルを検索します。（大／小文字は区別されません）
- グループ名を検索するときはナビメニュー画面内のカーソルを“グループ”側に、コンテンツ名を検索するときは“コンテンツ”側に置いてください。

① サブメニュー（☞ 左記、サブメニューを使う）を表示中、［▲▼］で“検索”を選び、［決定］を押す



② ［▲▼］で文字を選び、［決定］を押す
- 続けて入力するにはこの手順を繰り返す。
- ［I◀◀ ▶▶I］を押したままにすると「A、E、I、O、U」にスキップします。
- 確定した文字を消すには［◀］を押す。
- 入力した文字で始まるタイトルを検索するには、［◀］で“＊”を消してから手順 ② を行う。

③ ［▶］で“検索”を選び、［決定］を押す
検索結果が画面に表示されます。

④ ［▲▼］でグループまたはコンテンツを選び、［決定］を押す

メニュー画面を使った SD カードの再生

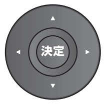
SD PICTURE **SD AUDIO**

項目を順番に再生する（SD カードメニュー）

1 

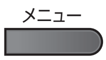
押す



2 

［▲▼］で“SD ピクチャー”または“SD オーディオ”を選び、［決定］を押す

項目を選んで再生する（ナビメニュー）

1 

押す

SD PICTURE



SD AUDIO



2 

SD PICTURE

［▲▼◀▶］で写真を選び、［決定］を押す

■ **他グループの写真を再生するには**

① ［▲］で“グループ”を選び、［決定］を押す
② ［▲▼］でお好みのグループを選び、［決定］を押す
③ ［▲▼◀▶］で写真を選び、［決定］を押す



- 他のページを見るには、［▲▼◀▶］で“前ページ”または“次ページ”を選び、［決定］を押す。

SD AUDIO

［▲▼◀▶］でプレイリストを選び、［決定］を押す

■ **トラックを選んで再生するには**

［▲▼◀▶］でトラックを選び、［決定］を押す

- 画面を消すには、［メニュー］を押す。

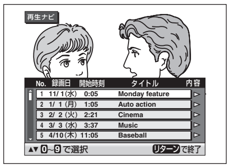
プログラムやプレイリストの再生

DVD-VR

- タイトルはディスクに記録されている場合のみ表示されます。
- 本機では、タイトルやプレイリストの編集はできません。

プログラムを選んで再生（再生ナビ）

1 トップメニュー 押す



2 決定 [▲▼] でプログラムを選ぶ

- リモコンの数字ボタンでも選べます。
  （☞7 ページ、番号入力）
- [▶] を押すと、番組内容およびディスク内容が表示されます。

- 画面を消すには [リターン] を押す。

お好みのプレイリストを再生（プレイリスト再生）

プレイリストが作成されたディスクにのみ働きます

1 メニュー 押す



2 決定 [▲▼] でプレイリストを選び、[決定] を押す

- リモコンの数字ボタンでも選べます。
  （☞7 ページ、番号入力）

- 画面を消すには [リターン] を押す。

HighMAT™CD の再生

WMA MP3 JPEG

決定 メニュー画面表示中
[▲▼◀▶] で内容を選び、[決定] を押す

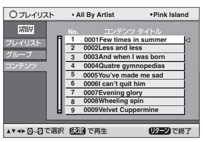
メニュー：
このメニューに含まれるプレイリストやメニューを表示します。

プレイリスト：
再生が始まります。

- メニュー画面に戻るには、[トップメニュー] を押してから [リターン] を数回押す。
- ディスクに記録されたメニュー画面に切り換えるには、メニュー画面表示中に [画面表示] を押す。
- 画面の入／切は、[トップメニュー] を押す。

リスト画面から選んで再生する

1 メニュー 押す



2 決定
① [◀]→[▲▼] でリストを切り換える
② [▶]→[▲▼] で選び、[決定] を押す

- 画面を消すには、[メニュー] を押す。

プログラム／ランダム再生

（リモコンのみ）

DVD-V VCD CD WMA MP3 JPEG SD PICTURE SD AUDIO

再生モード 停止中に
押して切り換える
プログラム再生 → ランダム再生
↑―― 通常再生 ←――┘

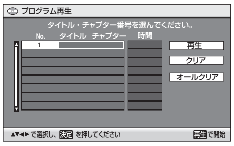
- HighMAT CD をプログラム／ランダム再生するときは、“その他のメニュー” で “データディスクとして再生” を選んでください。（☞17 ページ）。
- 通常再生に戻すには、停止中に [再生モード] を数回押してください。

お好みの順に再生（プログラム再生）（最大３２項目）

1 **押して項目を選ぶ**
（ディスク ☞7 ページ、番号入力／SD カード ☞9 ページ、番号入力）

- 続けて選ぶときは、この操作を繰り返してください。

例）DVD-V



■ **すべての項目を選ぶ**
[決定] を押したあと、[▲▼] で “ALL” を選び、[決定] を押す

■ **予約を変更／追加する**
[▲▼] で変更したい項目を選び、手順 1 を行う

■ **予約を取り消す**
[▲▼] で取り消したい項目を選び、[取消し] を押す
（[▲▼◀▶] で “クリア” を選び、[決定] を押しても取り消されます）

■ **予約を全て取り消す**
[▲▼◀▶] で “オールクリア” を選び、[決定] を押す

- 以下の場合も取り消されます。
  – 電源を切る
  – ふたを開ける（ディスク）
  – 取り出す（SD カード）
  – [DISC/TV/SD/AUX] を押す

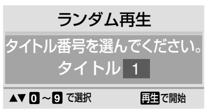
- SD AUDIO プレイリストからトラックを選択することはできません。

2 再生 **押す**

順不同に再生（ランダム再生）

1 DVD-V WMA MP3 JPEG SD PICTURE SD AUDIO
押して項目を選ぶ
（ディスク ☞7 ページ、番号入力／SD カード ☞9 ページ、番号入力）

例）DVD-V



- DVD-V タイトル内のチャプターに働きます。

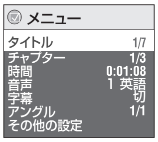
2 再生 **押す**

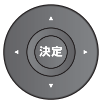
GUI 画面を使って操作する

1 

押す

例：DVD-V



2 

① [▲▼] でメニューを選ぶ
② [決定] で次のメニューに進み、[▲▼] で項目を選ぶ
③ [決定] を押す
必要であれば、この手順を繰り返す。

- 表示される項目はディスク・SD カードによって異なります。
- [決定] のかわりに [▶] で変更できる項目もあります。
- 再生中にしか働かない機能もあります。
- 前の項目に戻るには、[◀] を押す。戻れない場合は、一度画面を終了して（☞ 下記）、前の項目まで上記の手順を繰り返す。
- リモコンの**数字ボタン** → **[決定]** で設定できる項目もあります。
- 画面を終了するには **[リターン]** を押す。
- 再生速度や画質、音声の調整は、ディスクの記録状態により、効果が得られない場合があります。

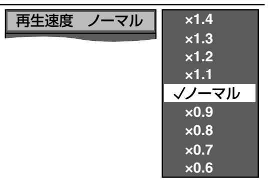
ディスク・SD カード

（[DISC/TV/SD/AUX] で "DISC" または "SD" 選択時に表示）

メニュー

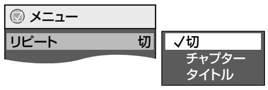
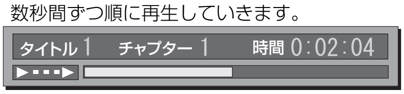
プログラム、 グループ、 タイトル、 チャプター、 トラック、 プレイリスト、 コンテンツ	[▲▼]で項目を選び、[決定]を押す。 ● [▲▼]を押したままにすると速く変わります。
時間	**時間を指定して飛びこす（タイムワープ）** DVD-VR DVD-V（+R、+RW以外） ① [決定]を2回押して、タイムワープインジケーターを表示させる ② [▲▼]で時間を選び、[決定]を押す 　● [▲▼]を押したままにすると速く変わります。 **時間を指定して再生する（タイムサーチ）** DVD-VR DVD-V（+R、+RW以外） 例）1時間46分50秒から再生（リモコンで入力） [1] → [4] → [6] → [5] → [0] → [決定] **経過時間／残時間表示切り換え**
音声	（☞13 ページ）
サムネイル	サムネイル（画像の一覧）画面表示
字幕	（☞13 ページ）
マーカー(VR)	DVDレコーダーで付けたマークを呼び出す
アングル	（☞13 ページ、アングルの切り換え）
画像回転	（☞13 ページ、画像回転）
スライドショー	入 ⟷ 切 間隔を "1 速い" ～ "5 遅い" の間で変更できます。 ● 再生位置によっては、スキップおよび画像の回転が正常に働かない場合があります。
その他の設定	（☞ 下記）

その他の設定

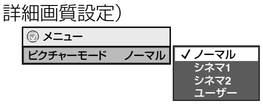
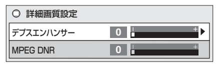
再生速度	DVD-VR DVD-V ノーマル × 0.6 ⟷ × 1.4 （0.1 ずつ）  ● [・ 入 ▶] を押すと、通常再生に戻ります。 ● 速度調節中は、アドバンストサラウンド、H.Bass およびサウンドエンハンスメント（☞17 ページ）は働きません。

再生メニュー

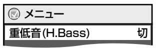
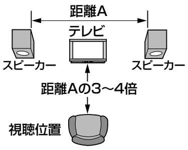
（経過時間が表示されるディスク・SD カードにのみ働きます JPEG SD PICTURE リピートとマーカーはできます）

リピート	● 解除するには、"切" を選び、[決定] を押す。 例：DVD-V 
A-Bリピート 好きな場面を繰り返す	DVD-VR DVD-V VCD CD WMA MP3 始点／終点で [決定] を押す。 ● 解除するには、もう一度 [決定] を押す。 ● DVD-VR 静止画部分には働きません。 
マーカー	DVD-V VCD CD WMA MP3 JPEG SD PICTURE **お好みの位置を記憶（5 個まで）** **[決定]** を押してから下記の操作を行う。 **マークを付けるには** → 付けたい位置で **[決定]** を押す **他にマークを付けるには** → **[◀▶]** で "＊" を選び、**[決定]** を押す **マークを呼び出すには** → **[◀▶]** でマークを選び、**[決定]** を押す **マークを取り消すには** → **[◀▶]** でマークを選び、**[取消し]（リモコン）**を押す ● 本機で付けたマーカーは、以下の場合に取り消されます。 – 電源を切る – ふたを開ける（ディスク） – 取り出す（SD カード） – [DISC/TV/SD/AUX] を押す ● プログラム、ランダム再生中は働きません。
アドバンスト ディスクレビュー 見たいタイトル/プログラムを探す	DVD-VR DVD-V（+R、+RW 以外） 下記画面が表示され、各タイトル / プログラムの先頭を、数秒間ずつ順に再生していきます。  再生したいタイトル / プログラムで [・ 入 ▶] を押す ● 各タイトル / プログラムを 10 分刻みで数秒ずつ再生するには、"アドバンストディスクレビュー" で "インターバルモード" を選んでください。（☞18 ページ、"ディスク"） ● 再生位置によっては、働かない場合があります。 ● DVD-VR 静止画およびプレイリスト再生中は働きません。

画質メニュー

ピクチャーモード 画質を調整する	**ノーマル** **シネマ 1**：映画館で見ているようなしっとり感 **シネマ 2**：昔の映画などをくっきり **ユーザー**：（☞ 下記、詳細画質設定）  **詳細画質設定**  **デプスエンハンサー：** 主に背景部分に現れるノイズを除去することで、奥行き感のある映像を楽しめます。 MPEG DNR： 動画に現れるモザイク状のノイズや、周囲とのコントラストがはっきりした部分に現れるもやのようなノイズを除去します。 ① [▲▼] で、"詳細画質設定" を選び、**[決定]** を押す ② [▲▼] で、"**デプスエンハンサー**" または "MPEG DNR" を選ぶ ③ [◀▶] で調整する (デプスエンハンサー：0 ～ +4、MPEG DNR：0 ～ +3)

音声メニュー

重低音(H.Bass) 重低音を楽しむ	**5.1ch ディスクに働きます。2ch ディスクにも一部効果があるものがあります。** DVD-VR DVD-V **切 ⟷ 入**  ● 音声がひずんだり、雑音が聞こえる場合は“切”を選んでください。
アドバンスト サラウンド サラウンド効果を楽しむ	**2ch 以上の動画に働きます。** **● SP 1 標準　● SP 2 強** **● HP 1 標準　● HP 2 強** 2 本のスピーカー（またはヘッドホン）でサラウンド効果が得られます。（本機のスピーカーでは効果を得られません） ● **ヘッドホン使用時は、“HP 1 標準”または“HP 2 強”**（HP：ヘッドホン）を選んでください。 ● サラウンド信号があるディスクの場合、横方向からもサラウンド信号が出ているように聞こえます。 ● H.Bass（☞ 上記）“入”時は、働きません。 ● 接続した機器のサラウンド機能を「切」にしてください。 **効果的な視聴位置** テレビのスピーカーを使う場合 テレビの横幅＝距離 A 
シネマボイス 映画のセリフを聞き取りやすくする	DVD-V（ドルビーデジタル、DTS、3チャンネル以上でセンターチャンネルにセリフが入っているディスク） **切 ⟷ 入**
サウンド エンハンスメント アナログのまろやかな音質に近づける	DVD-VR DVD-V（48 kHzで記録されたディスク） VCD CD WMA MP3 SD AUDIO（8 kHz、16 kHz、32 kHz以外で記録されたディスクまたはSDカード） **切 ⟷ 入** ● MP3 DVD-RAM および DVD-R/RW 内の MP3 には働きません。 ● アドバンストサラウンドおよび H.Bass（☞ 上記）動作時は働きません。

表示メニュー

情報表示	JPEG SD PICTURE 日付の表示 / 非表示を切り換える。 **切 ⟷ 入**
字幕位置	**字幕が記録されたディスクに働きます** **0〜−60（2段階ずつ）**
字幕明るさ	**字幕が記録されたディスクに働きます** **オート（明るさを自動調節する）、0〜−7**
ぴったりズーム	**動画に働きます** いろいろな縦横比の画像を液晶画面またはテレビの画面サイズに近づけます。 **オート ↔ 4:3 標準 ↔ ヨーロピアンビスタ ↔ 16:9 標準 ↔ アメリカンビスタ ↔ シネマスコープ 1 ↔ シネマスコープ 2**
任意ズーム	**動画に働きます** [▲▼] でズーム倍率を調節する。（押したままにすると速く変わります） **× 1.00 〜× 1.60（× 0.01 ずつ）** **× 1.60 〜× 2.00（× 0.02 ずつ）**
ビットレート表示	**動画に働きます** **切 ⟷ 入**
GUIシースルー	**GUIメニューの背景を半透明にする** **切 ⟷ 入 ⟷ オート(映像が表示されると自動的に半透明にする)**

その他のメニュー

初期設定	（☞18 ページ）
DVD-VR として再生 **HighMAT として再生** あるいは **データディスクとして再生**	以下の場合、“データディスクとして再生”を選んでください。 – HighMAT 規格で記録されたディスクを HighMAT 機能を使わずに再生する – 番組（DVD-VR）が記録されている DVD-RAM 内の写真（JPEG）や音楽（MP3）を再生する ● 番組（DVD-VR）再生に戻るには、“DVD-VR として再生”を選んでください。

テレビ放送

（[DISC/TV/SD/AUX] で“TV”選択時に表示）

番組表	（☞12 ページ）
番組内容	（☞12 ページ）
チャンネルリスト	チャンネルリストを切り換える。**（☞11 ページ）** **ホーム ⟷ おでかけ ⟷ 地域**
チャンネル設定	（☞10 ページ）
地域設定	本機を使用している地域を設定する。**（☞11 ページ）** ● “チャンネルリスト”で“ホーム”または“おでかけ”を選んでいる場合は設定できません。
音声	複数音声（音声 1/ 音声 2）を切り換える。 **（☞12 ページ）** ● 複数音声のない放送の場合は切り換えられません。
二重音声	二重音声（主 / 副 / 主＋副）の設定を切り換える。 **（☞12 ページ）** ● 二重音声のない放送の場合、切り換えても効果がありません。
字幕	字幕の設定を切り換える。 **字幕言語の切り換え（☞12 ページ）** **字幕の入 / 切（☞12 ページ）** ● 字幕放送でない場合、または字幕を「切」に設定している場合、切り換えても効果がありません。
サービス	サービスを切り換える。 ● 複数サービスのない放送の場合は切り換えられません。
初期設定	（☞18 ページ）

言語番号一覧表

アイスランド	: 7383	グルジア	: 7565	ハンガリー	: 7285
アイマラ	: 6589	ケチュア	: 8185	バシキール	: 6665
アイルランド	: 7165	ゲール（スコットランド）	: 7168	バスク	: 6985
アゼルバイジャン	: 6590	コーサ	: 8872	パシュト	: 8083
アッサム	: 6583	コルシカ	: 6779	パンジャブ	: 8065
アファル	: 6565	サモア	: 8377	ヒンディー	: 7273
アフリカーンス	: 6570	サンスクリット	: 8365	ビハール	: 6672
アブハジア	: 6566	ショナ	: 8378	ビルマ	: 7789
アムハラ	: 6577	シンド	: 8368	フィジー	: 7074
アラビア	: 6582	シンハラ	: 8373	フィンランド	: 7073
アルバニア	: 8381	ジャワ	: 7487	フェロー	: 7079
アルメニア	: 7289	スウェーデン	: 8386	フランス	: 7082
イタリア	: 7384	スロバキア	: 8375	フリジア	: 7089
イディッシュ	: 7473	スロベニア	: 8376	ブータン	: 6890
インターリングア	: 7365	スワヒリ	: 8387	ブルガリア	: 6671
インドネシア	: 7378	スンダ	: 8385	ブルターニュ	: 6682
ウェールズ	: 6789	スペイン	: 6983	ヘブライ	: 7387
ウォロフ	: 8779	ズールー	: 9085	ベトナム	: 8673
ヴォラピュック	: 8679	セルビア	: 8382	ベロルシア（白ロシア）	: 6669
ウクライナ	: 8575	セルボクロアチア	: 8372	ベンガル（バングラ）	: 6678
ウズベク	: 8590	ソマリ	: 8379	ペルシャ	: 7065
ウルドゥー	: 8582	タイ	: 8472	ポーランド	: 8076
英語	: 6978	タタール	: 8484	ポルトガル	: 8084
エストニア	: 6984	タミル	: 8465	マオリ	: 7773
エスペラント	: 6979	タガログ	: 8476	マケドニア	: 7775
オーリヤ	: 7982	タジク	: 8471	マライ（マレー）	: 7783
オランダ	: 7876	チェコ	: 6783	マラッタ	: 7782
カザフ	: 7575	中国語	: 9072	マラヤーラム	: 7776
カシミール	: 7583	チベット	: 6679	マルタ	: 7784
カタロニア	: 6765	ティグリニア	: 8473	マダガスカル	: 7771
ガリチア	: 7176	テルグ	: 8469	モルダビア	: 7779
韓国（朝鮮）語	: 7579	デンマーク	: 6865	モンゴル	: 7778
カンナダ	: 7578	トウイ	: 8487	ヨルバ	: 8979
カンボジア	: 7577	トルクメン	: 8475	ラオ	: 7679
キルギス	: 7589	トルコ	: 8482	ラテン	: 7665
ギリシャ	: 6976	トンガ	: 8479	ラトビア（レット）	: 7686
クルド	: 7585	ドイツ	: 6869	リトアニア	: 7684
クロアチア	: 7282	ナウル	: 7865	リンガラ	: 7678
グアラニー	: 7178	日本語	: 7465	ルーマニア	: 8279
グジャラト	: 7185	ネパール	: 7869	レトロマンス	: 8277
グリーンランド	: 7576	ノルウェー	: 7879	ロシア	: 8285
		ハウサ	: 7265		

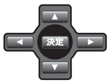
初期設定を変える

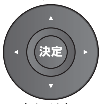
- このページの表をご覧になり、必要に応じて変更してください。
- 日本語 のようにアミのかかった項目は、お買い上げ時の設定です。

変更した設定は電源を切っても保持されます。

1 

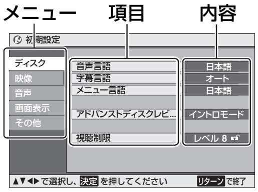
押す
（リモコン）

2 

（リモコン）
または


（本体）

[▲▼◀▶] でメニュー・項目・内容を選び、[決定] を押す



- ひとつ前の画面に戻るには **[リターン]** を押す。
- 設定を終了するには **[初期設定]** を押す。
- GUI からこの画面を表示することもできます（☞16 ページ）。

ディスク・SD カード

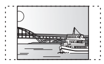
（[DISC/TV/SD/AUX] で “DISC” または “SD” 選択時に表示）

ディスク

音声言語	●日本語　●英語 ●オリジナル（ディスクの最優先言語） ●その他＊＊＊＊※
字幕言語	●オート （“音声言語” で選んだ言語で再生されなかったとき、字幕でその言語を表示） ●日本語　●英語 ●その他＊＊＊＊※
メニュー言語	●日本語　●英語 ●その他＊＊＊＊※
アドバンスト ディスクレビュー 再生の間隔が選べます。（☞16 ページ）	●イントロモード：各タイトル / プログラムの先頭を数秒ずつ表示 ●インターバルモード：各タイトル / プログラムを 10 分刻みで数秒ずつ表示
視聴制限 DVD ビデオの視聴が制限できます。	●8　すべて視聴可 ●1 ～ 7：記録のレベルに応じて視聴不可 ●0　すべて不可 レベルを設定すると、暗証番号入力画面が表示されます。画面の指示に従ってください。 **暗証番号は忘れないでください。** ●視聴制限を超える DVD ビデオを入れると、画面上に表示が出ます。そのときは画面の指示に従ってください。

※ リモコンの数字ボタンで言語番号（☞17 ページ）を入力します。

映像

TV アスペクト テレビサイズに合わせた映像の表示方法が選べます。	●4：3 パン&スキャン：標準サイズのテレビ 16：9 の映像は左右の切れた映像で表示（パン&スキャンでの再生が指定されていないソフトは、レターボックスで再生します）  ●4：3 レターボックス：標準サイズのテレビ 16：9 の映像は上下に帯のある映像で表示  ●16：9：ワイドサイズのテレビ 必要に応じてテレビ側の画面モードの設定を変えてください。
スチルモード 一時停止時の画像の表示方法が選べます。	●オート ●フィールド：画像にブレが発生するとき ●フレーム：小さい文字や細かい絵柄が見えにくいとき

音声

音声のダイナミックレンジ圧縮（ドルビーデジタルのみ） 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	●切　●入

画面表示

画面メニュー言語 初期設定画面、操作画面の言語を選びます。	●日本語　●English（英語）
画面メッセージ 画面メッセージを表示する、しないを選びます。	●入　●切

その他

省電力 バッテリーパック使用時のみ働きます。	●オート：[DISC/TV/SD/AUX] で “TV” 以外を選択時、テレビ放送受信への電源供給を制限し、バッテリーパックの消費量を節約します。ただし、テレビ放送へ切り換わるのに時間がかかります。 ●切：テレビ放送へ早く切り換わります。バッテリーパックの消費量は増えます。
設定の初期化 本機をお買い上げ時の状態に戻します。	●する：視聴制限（☞左記）を設定しているときは、暗証番号を入力して [決定] を押してください。“オールクリア” が表示されてから **[決定]** を押し、約 10 秒後に電源を入れ直してください。 ●しない

テレビ放送

（[DISC/TV/SD/AUX] で “TV” 選択時に表示）

設定の初期化

チャンネルリストの初期化 チャンネル未登録の状態に戻します。	●ホーム　●おでかけ ●ホーム／おでかけ
全設定値の初期化 すべての設定値をお買い上げ時の状態に戻します。	●する　●しない

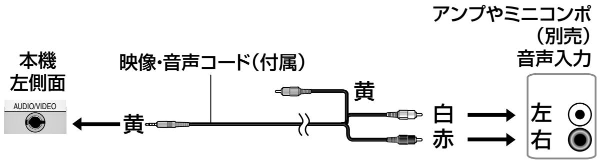
ID 表示

ライセンス表示 本機に使用されているソフトウェアに関する情報を表示します。	●ライセンス表示

他の機器と接続して楽しむ

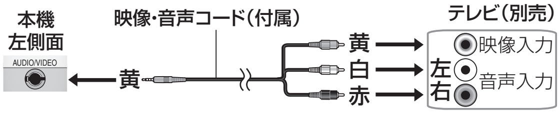
接続前に、全ての機器の電源を切り、それぞれの機器の説明書もよくお読みください。

2ch 音声で楽しむ



テレビやプロジェクターで映像を楽しむ

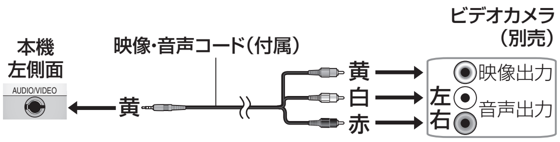
- 接続前にテレビの電源を切ってください。（テレビの説明書もよくお読みください）
- **本機とテレビの間にビデオなどを経由させて接続しないでください。**



- 本機のスピーカーは、防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くに置かないでください。
  また本機にキャッシュカードや定期券、時計などを近づけないでください。スピーカーの磁気の影響で正しく働かなくなることがあります。
- 本機の再生時にテレビ側で音量を上げると、テレビ放送に切り換えたときに大きな音が出ることがあります。切り換える前にテレビの音量を元に戻してください。
- 本機で受信したテレビ放送は、接続したテレビでも楽しめます。ただし、放送内容によっては、出力できない場合があります。

他の機器の映像や音声を楽しむ

1 本機に機器を接続する



2 

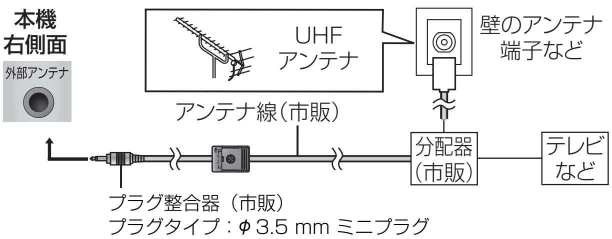
数回押して“AUX”を選ぶ

- 再生操作は接続する機器の側で行ってください。（接続する機器の説明書もよくお読みください）
- オートパワーオフ（☞6、8 ページ）は働きません。続けて再生しないときは、電源を切ってください。

屋外アンテナと接続する

（[DISC/TV/SD/AUX] で“TV”選択時）

室内での接続例



- 詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

パソコン等でファイルを作るときは

ファイル形式：WMA
ディスク：CD-R/RW
拡張子：“.WMA”“.wma”
備考：
- 対応ビットレート：48 kbps ～ 320 kbps
- 著作権保護されたファイルは再生できません。
- マルチプルビットレートには対応していません。

ファイル形式：MP3
ディスク：DVD-RAM、 DVD-R/RW、CD-R/RW
拡張子：“.MP3”“.mp3”
備考：
- 対応ビットレート：32 kbps ～ 320 kbps
- ID3 タグには対応していません。
- 再生可能なサンプリング周波数
  DVD-RAM/DVD-R/RW：11.02 kHz、12 kHz、22.05 kHz、24 kHz、44.1 kHz、48 kHz
  CD-R/RW：8 kHz、11.02 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz

ファイル形式：JPEG
ディスク：DVD-RAM、DVD-R/RW、CD-R/RW
拡張子：“.JPG”“.jpg”“.JPEG”“.jpeg”
備考：
- デジタルカメラで記録された JPEG データ [DCF (Design rule for Camera File system) 規格 Ver.1.0 準拠] を表示します。
  – パソコンの画像編集ソフトなどで加工、編集、再保存したデータは表示できないことがあります。
- Motion JPEG などの動画や JPEG 以外の静止画（TIFF など）および音声付画像は再生できません。

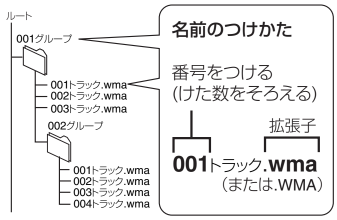
- 8 階層以降にあるグループは、メニュー画面の 8 階層目と同じ列に表示されます。
- 表示可能な漢字は、JIS 第一水準のみです。それ以外の漢字は“＿”（アンダーバー）で表示されます。
- メニュー画面とパソコンの画面では表示順が異なることがあります。
- ディスクの作り方によっては、再生順が変わることがあります。
- SD AUDIO パソコンでデータを作るには、当社製 SD-Jukebox が必要です。
- パケットライト方式※で記録されたファイルは再生できません。
  ※ データ記録方式の一つで、データを「パケット」と呼ばれる細かい単位に分割して書き込む方式です。音楽 CD をこの方法で作成することはできません。

■ ディスクのフォルダ名・ファイル名のつけかた

本機では、パソコン等で作成したフォルダ・ファイル名はそれぞれグループ名・コンテンツ名として表示されます。

DVD-RAM
- 使用できるフォーマット：UDF2.00

DVD-R/RW
- 使用できるフォーマット：UDF1.02/ISO9660
- マルチセッションには対応していません。
  デフォルトセッションのみ対応しています。



CD-R/RW
- 使用できるフォーマット:ISO9660 level 1 および level 2（拡張フォーマットを除く）
- マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いと、再生開始まで時間がかかることがあります。

Q&A（よくあるご質問）

海外でも使えるか	地域に合わせた変換プラグをご用意いただくと、海外旅行にもお持ちいただけます。 ただし本製品は日本国内向けに設計されているため、海外で常時使用はしないでください。また、本機の映像方式は NTSC ですので、PAL 方式のテレビとつなぐことはできません。 保証は国内のみ有効です。
海外で買った DVD ビデオを再生できるか	リージョン番号が「2」を含むか「ALL」で、映像方式が NTSC であれば、再生できます。 ディスクのジャケットをご確認ください。
飛行機内や病院で使えるか	本機が出す電磁波により、飛行機の計器や医療機器に影響を与える恐れがあります。航空会社や病院の指示に従ってください。
パソコンと接続できるか	AV 入力端子付のパソコンと接続すると、テレビのようにパソコンのモニターでお楽しみいただけます。ただし、パソコンの周辺機器としてはお使いいただけません。
地上デジタル放送 (ワンセグ) を視聴するのに利用料金はかかるのか	● 本機での地上デジタル放送 (ワンセグ) の視聴については、従来のアナログ放送と同様、NHK の受信料以外の利用料金はかかりません (2007 年 12 月現在)。 ● 詳しくは、下記ホームページをご覧ください。 社団法人 デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp

使用上のお願い

お手入れ

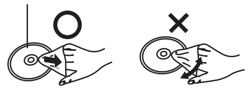
本体

- バッテリーを外しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- 液晶部のひどい汚れには、メガネクリーナーをおすすめします。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

ディスク

- ディスクに露がついたら
  急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

再生面（光っている面）



内側から外側へ

レンズ

- レンズは定期的にお手入れすることをおすすめします。
  推奨品：レンズクリーナーキット（品番：SZZP1038C）（お買い上げの販売店にご注文ください。パナソニックグループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。☞2 ページ）
- CD タイプのレンズクリーナーはご使用になれません。

ディスク・SD カードの取り扱い

ディスクや SD カードの破損や機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。

- ディスクにシールやラベルを貼らない
  （ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります）
- 鉛筆やボールペンなどで書き込みをしない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- ディスクを落としたり、重ねたり、物をのせたり、衝撃を与えたりしない
- 使用後はケースまたはカートリッジに収める
- 以下のディスクを使わない
  – シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスク（レンタルディスクなど）
  – そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
  – ハート形など、特殊な形のディスク
- 次のような場所に置かない
  – 直射日光の当たるところ
  – 湿気やほこりの多いところ
  – 暖房機具の熱が直接当たるところ
  – 静電気や電磁波が発生するところ

メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

パソコンなどの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
メモリーカード内のデータは、お客様の責任において管理してください。

充電式リチウムイオン電池について

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

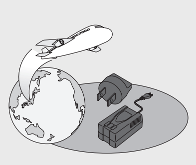
使用済み充電式電池の届け先
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。
- ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて
- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。

充電式
リチウムイオン
電池使用
Li-ion

海外で使うには .....
AC アダプターは、電源電圧（100 V ～ 240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。
海外旅行をされる場合は、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。
変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。
充電のしかたは、国内と同じです。
AC アダプターは日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。
ご使用にならないときは変換プラグを AC コンセントから外してください。



主な仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

再生可能ディスク（8 cm、12 cm）
(1) DVD（DVD ビデオ）
(2) DVD-RAM（DVD-VR※7、JPEG※4、5、6、MP3※2、5）
(3) DVD-R（DVD ビデオ、DVD-VR※7、JPEG※4、5、6、MP3※2、5）
(4) DVD-R DL（DVD ビデオ、DVD-VR※7）
(5) DVD-RW（DVD ビデオ、DVD-VR※7、JPEG※4、5、6、MP3※2、5）
(6) +R/RW（ビデオ）
(7) +R DL（ビデオ）
(8) CD、CD-R/RW [CD-DA、ビデオ CD、SVCD※1、MP3※2、5、WMA※3、5、JPEG※4、5、6、HighMAT レベル 2（音声、静止画）]

SD 再生※8、10、11
画像再生： JPEG※6、9、12
音声再生： SD-Audio 規格 Ver.1.01 に準拠した MPEG2-AAC、WMA、MP3（サンプリング周波数 32 k、44.1 k、48 k）

信号形式 NTSC

液晶ディスプレイ 8.5 型 α－Si TFT ワイド液晶モニター（480 × 234 × RGB）

音声 / 映像 出力 / 入力
出力 / 入力端子： φ 3.5 mm ミニジャック
端子数： 1 系統（入出力切換式）
コンポジット映像出力 / 入力
出力 / 入力レベル： 1 Vp-p（75 Ω）
音声出力 / 入力
出力 / 入力レベル： 1.5 Vrms（1 kHz、0 dB、10 kΩ）
音声出力特性
（1）周波数特性
● DVD（リニア音声）: 4 Hz ～ 22 kHz（48 kHz サンプリング）
4 Hz ～ 44 kHz（96 kHz サンプリング）
● CD audio： 4 Hz ～ 20 kHz
（2）S/N 比 100 dB
（3）ダイナミックレンジ 90 dB
（4）全高調波歪率 0.01%

スピーカー
出力 0.5 W+0.5 W（10%歪）

ヘッドホン出力
出力端子： φ 3.5 mm ステレオミニジャック
端子数： 2 系統

FM トランスミッター
送信周波数範囲： 76.3 MHz ～ 89.7 MHz（デジタル・チューニング：0.1 MHz 毎）
出力方式： ステレオ／モノラル（切替可能）

テレビ受信チャンネル
地上デジタルテレビ放送 1 セグメント部分受信サービス（ワンセグ）※13**：** UHF13 ch ～ 62 ch

電源 DC 12 V（DC IN 端子）/DC 7.2 V（バッテリー端子）

消費電力 14 W（付属の専用 AC アダプター使用時）/（本体 12 W）
電源「スタンバイ」時（付属の専用 AC アダプター使用時）： **約 0.3 W**
充電時（付属の専用 AC アダプター使用時）： 11 W

内蔵バッテリーパック VUADBLX97（リチウムイオン）
電圧：7.2 V
容量：4500 mAh

外形寸法（幅×高さ×奥行き）（突起物を含まず）
242.6 mm × 46.0※ mm × 173.5 mm
※ 23.9 mm（最薄部）
（高さ：51.5 mm、奥行き：179.3 mm、バッテリー装着時）

質量
約 1158 g（バッテリーパック含む）
約 925 g（バッテリーパック含まず）

許容周囲温度 ＋ 5 ℃～ 35 ℃
許容相対湿度 5%～ 85% RH（結露なきこと）

AC アダプター
電源： 100 V ～ 240 V、50/60 Hz
消費電力： 31 VA ～ 50 VA
DC 出力： 12 V、1.3 A

カー DC アダプター
DC 出力： 12 V、1.5 A
12 V 車専用

● 使用可能容量は少なくなることがあります（SD カード）。

※1 IEC62107 準拠
※2 MPEG-1 Layer3、MPEG-2 Layer3
※3 Windows Media Audio Ver 9.0 L3.
Multiple Bit Rate (MBR) との互換性はありません。
※4 Exif Ver2.1 JPEG ベースライン方式準拠
画像解像度： 160×120 ～ 6144×4096（サブサンプリング：4:0:0、4:2:0、4:2:2、4:4:4）
※5 MP3/WMA/JPEG を合わせた再生可能な最大コンテンツと最大グループの合計
再生可能な最大コンテンツ数（トラック数と画像数）： 4000
再生可能な最大グループ数： 400
※6 極端に細長い画像は表示されない場合があります。
※7 CPRM 対応
※8 使用可能なメモリー容量： 8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB、4 GB (SDHC)、8 GB (SDHC)、16 GB (SDHC)
※9 再生可能な最大フォルダ数／最大ファイル数：
画像： 398 ／ 4000
※10 当社製デジタルカメラあるいは DVD レコーダー、ミニコンポなどにより、SD File System 規格 Ver 2.00 に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットした SD メモリーカード、および FAT32 形式でフォーマットした SDHC メモリーカードに対応
※11 miniSD カードを含む（専用のアダプターが必要）
microSD カードを含む（専用のアダプターが必要）
※12 SD Picture 規格準拠
画像解像度： 160×120 ～ 6144×4096（サブサンプリング：4:0:0、4:2:0、4:2:2、4:4:4）
※13 データ放送、緊急警報放送の受信には対応していません。

著作権

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。
それでも直らないときや、症状が載っていないときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

以下の現象が起こるときがありますが、異常ではありません。

- 充電中に、AC アダプターの内部で音がする。
- 長時間使うと、本体表面が多少熱くなる。
- 充電後やバッテリーパックで使用中に、バッテリーパックが多少熱くなる。

電 源

電源が入らない	● バッテリーパックの取り付けと、電源接続を確認してください。**3 ページ** ● **バッテリーパック使用時は、リモコンで電源を入れることはできません。** ● 高／低温下では保護回路が働き、使用できない場合があります。 本機およびバッテリーパックは 5 ℃〜 35 ℃の間で使用してください。
勝手に電源が切れる	● 停止状態で放置すると AC アダプター使用時は約 15 分で、バッテリーパック使用時は約 5 分で電源が切れます。（**オートパワーオフ**） 電源を入れ直してください。**6、8 ページ**
充電できない （[CHG] ランプが点灯しない）	● 高／低温下では、通常よりも充電時間が長くかかったり、充電できない場合があります。 ● バッテリーパックの取り付けと、電源接続を確認してください。**3 ページ**
充電しても再生時間が極端に短い	● バッテリーパックの寿命です。（充電回数：約 300 回が目安）

操 作

各ボタン操作ができない	● 特定の操作を禁止しているディスクもあります。 ● 落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。本機の電源を一度、切／入してください。 または、電源を切って AC アダプターとバッテリーパックを取り外し、もう一度取り付けてください。
再生できない (またはすぐに停止する)	● 寒いところから急に暖かいところへ持ち込むと露つきが発生し、再生できない場合があります。1 〜 2 時間放置してください。 ● 再生できるディスクかどうか確認してください。**4 ページ** ● ディスクが汚れていませんか？ **20 ページ** ● ディスクを正しくセットしてください。**6 ページ** ● 静止画を含む WMA は再生できないことがあります。 ● ディスクに CD-DA（CD）と別のフォーマットが含まれている場合、正しく再生できないことがあります。 ● 記録済みのディスクが入っていますか？
リモコンで操作できない	● 電池の ⊕⊖ を確かめて正しく入れ、消耗している場合は、新しいものと交換してください。**2 ページ** ● リモコン受信部に向けて操作してください。**2 ページ**
SD カードのコンテンツが読み込めない	● 本機で対応しているフォーマットではありません。あるいは SD カード内のコンテンツが破壊されている可能性があります。 当社製デジタルカメラ、DVD レコーダー、または同様の機器を使用し、SD 規格に準拠した FAT12、FAT16、FAT32 形式でフォーマットしてください。**4 ページ** ● 本機で対応していないフォルダ名やファイル名、あるいは拡張子を含む SD カードです。
曲が再生されるまでに時間がかかる	● 静止画データの入った MP3 ファイルでは時間がかかることがあります。また、再生後も時間が正確に表示されないことがあります。
プログラム／ランダム再生できない	● プログラム／ランダム再生できない DVD ビデオがあります。
スキップ・早送り／早戻し中にメニュー画面が表示される	● ビデオ CD では正常な動作です。
VCD (プレイバックコントロール付き) PBC メニュー画面が表示されない	● [■ − 切] を 2 回押した後、[• 入 ▶] を押してください。
A-B リピートの終点 (B 点) が自動的に決定される	● 始点（A 点）のみを設定すると、タイトル／トラックなどの終わりが B 点となります。
字幕が出ない	● 字幕の入ったディスク、または字幕のあるテレビ放送のみ表示します。 ● 字幕を“入”にしてください。**12、13 ページ**
視聴制限で設定した暗証番号を忘れた	● 以下の操作で、本機をお買い上げ時の状態に戻してください（テレビ放送は除く）。停止状態で、本体の [⏮] と [❚❚] を押しながら、[• 入 ▶] を 3 秒以上押す。（画面の“オールクリア”が消えたことを確認し、電源を切 / 入してください）

映 像

液晶画面が暗い	●“DAYLIGHT”を選ぶか、“USER MODE”で明るさを調整してください。**13 ページ**
液晶画面の一部の画素が欠けたり常時点灯する	● カラー液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上が有効画素であるものを採用しておりますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではありません。
液晶画面に映像が映らない	● 接続を確認してください。**3 ページ** ● モニター設定が“MONITOR OFF”（映像なし）になっていませんか？ **12 ページ**
映像が乱れる	● 早送り／早戻し時、多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。 ● 本機でテレビ放送を受信する場合、画像が粗くなったり、映像の動きがなめらかでない場合がありますが、故障ではありません。
字幕の位置がおかしい	● 字幕位置の調節をしてください。**17 ページ** ※テレビ放送の字幕位置は調節できません。
メニュー画面が正しく表示されない	●“任意ズーム”の倍率を“×1.00”にしてください。**17 ページ** ● 字幕位置を“0”にしてください。**17 ページ**

映 像（つづき）

テレビに映像が映らない（または画面サイズがおかしい）	● 本機とテレビは直接接続してください。**19 ページ** ● 接続を確認してください。**19 ページ** ● テレビの電源は入っていますか？ ● テレビの入力切換は正しいですか？ ● テレビ側の画面モードを変更してください。 ●“TV アスペクト”は、正しく設定されていますか？ **18 ページ** ●“表示メニュー”の“ぴったりズーム”で調節してください。**17 ページ** ● 本機で受信したテレビ放送を出力する場合、放送内容によっては、出力できないことがあります。
オートズーム（ぴったりズーム）が働かない	● テレビ側のズーム機能を解除してください。 ●“任意ズーム”で微調整してください。**17 ページ** ● 映像全体が暗かったり、ディスク・SD カードの種類によっては、働かないことがあります。
テレビ放送へ切り換わるのに時間がかかる	● 省電力モードを“切”にしてください。**18 ページ**
チャンネルリストで選んだ放送が視聴できない	● チャンネルリストの“地域”には、2007 年 12 月現在、まだワンセグサービスが開始されていないチャンネルも登録されています。サービス開始までは視聴できません。**11 ページ** ●“チャンネルリストの“地域”は、ワンセグサービスのすべての放送エリアに対応しているわけではありません。また、登録されているチャンネルでも受信できない場合があります。**11 ページ**
チャンネルリストで選んだ放送と異なる放送が表示される	● チャンネルリストの“地域”に登録されているチャンネルを視聴する場合、設定した地域から離れた場所で使用すると、選んだ放送と異なる放送を受信することがあります。地域を設定し直すか、“地域”以外のチャンネルリストに切り換えて視聴してください。**11ページ**

音 声

本機のスピーカーから音が出ない	● FM トランスミッターを「切」にしてください。**5 ページ** ● 液晶画面を閉じていませんか？ ● ヘッドホンを抜いてください。 ● ボリュームを上げてください。**6 ページ**
雑音が聞こえる	● 本機と携帯電話を近づけて使っていませんか？ ● WMA の再生中に雑音が生じることがあります。
FM トランスミッターが働かないメニューを表示しない	● ヘッドホンを本機から抜いてください。
外部スピーカーから音が出ない	● 接続を確認してください。**19 ページ**
音が途切れる	● 再生速度を切り換えるときに、音が途切れることがあります。
音声がひずむ	●“アドバンストサラウンド”を「切」にしてください。**17 ページ**
音声効果が働かない	● アドバンストサラウンド、H.Bass、サウンドエンハンスメントは早見／早聞き・遅見／遅聞き再生中は働きません。 ● 音声効果が働かなかったり、出にくいディスクもあります。

ランプの点滅

[⏻] ランプがすばやく点滅	● 本体に異常が発生しました。お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」に修理をご依頼ください。**26 ～ 27 ページ**
[⏻] ランプがゆっくり点滅	● 電源「入」状態で液晶画面が閉じている、またはモニター設定が“MONITOR OFF”(映像なし) になっています。再生しないときは電源を切ってください。**12 ページ**
[CHG] ランプがすばやく点滅	● バッテリーパックに異常が発生しました。 電源を入れて画面の表示をご確認ください。**下記**
[CHG] ランプがゆっくり点滅	● 電池残量が少なくなっています。(数分すると、電源が切れます)

画面の表示

“⃠”	● ディスク・SD カードまたは本機で禁止されている操作です。
“Gxx Cxx の画像ファイルは表示できません”	● 本機で表示できない画像ファイルです。
“Gxx Cxx は再生できません” “Gxx Cxx は保護されたコンテンツです”	● 本機で再生できないグループ／コンテンツです。
“ディスクを確認してください” “U11”	● ディスクが汚れていませんか？ **20 ページ** ● ディスクはファイナライズされていますか？ (DVD-RAM はファイナライズ不要です) **4 ページ**
“選択できません”	● [■ ー 切] を押してから、再度操作してください。
画面メッセージが出ない	●“画面メッセージ”を“入”にしてください。**18 ページ**
(バッテリー表示) ERROR 01	● バッテリーパックに異常が発生しました。お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」にご相談ください。**26 ～ 27 ページ**
(バッテリー表示) ERROR 02	● 13 時間充電し続けましたが、何らかの理由で完全充電されていません。再度充電してください。
(バッテリー表示) ERROR 03	● 暑いまたは寒い場所で充電しています。常温の場所で充電してください。
“H □□” (□□は数字)	● 異常が発生しました。(“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります) 電源を一度、切／入してください。 または、電源を切って AC アダプターとバッテリーパックを取り外し、もう一度取り付けてください。

処置をしても“H □□”が消えないときは

お買い上げの販売店または、お近くの「修理ご相談窓口」に修理をご依頼ください（26 ～ 27 ページ）。その場合、画面に表示される番号をお知らせください。

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

バッテリーパックは誤った使い方をしない

- **本機以外の機器で充電しない**
- **本機以外の機器に接続しない**
- **クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造したりしない**
- **端子部（⊕と⊖）に金属物（針金など）を接触させない**
- **金属物（ネックレス、ヘアピンなど）と一緒に持ち運んだり保管しない**
- **火への投入、加熱をしない**
- **火のそばや炎天下など高温の場所や、静電気の発生する場所で充電・使用・放置をしない**
- **汚したり、水でぬらしたり異物を入れたりしない（バッテリーパックは防水構造ではありません）**

- 長期間使用しないときは、取り外しておいてください。
- 取り扱いを誤ると、発熱・発火・破裂の原因になります。
- 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ると、失明のおそれがあります。万一、このようなことが起こったら、すぐにきれいな水で洗ったあと医師にご相談ください。

⚠警告

電源プラグ、カー DC アダプターの入力プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。

異常があったときは電源プラグ、カー DC アダプターの入力プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。
- バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
- 販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使わないときは、電源プラグを抜いてください。

AC アダプター、カー DC アダプターは付属品を使う

指定外の製品を使用すると、火災の原因になります。

カー DC アダプターは DC12 V のマイナスアース車専用です

プラスアース車に使用すると、火災や故障の原因になります。

カー DC アダプターは運転の妨げにならないように取り付ける

接続したコードなどに引っかかり運転に支障をきたすと、交通事故やけがの原因になります。

⚠警告

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V ～ 240 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

AC アダプター・カー DC アダプター・電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

分解、改造をしない

分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

ぬれた手で、電源プラグおよびカー DC アダプターの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

水などの液体をかけたり、ぬらしたりしない

本機の内部に入ると、火災や感電の原因になります。

歩行中や、乗り物を運転中に使用しない

交通事故の原因になります。

メモリーカードまたはボタン電池は、乳幼児の手の届くところに置かない

- 誤って飲み込むと身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

ボタン電池は誤った使い方をしない

- **⊕ と ⊖ は逆に入れない**
- **加熱、分解したり、水などの液体や火の中に入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

- 長期間使わないときは、取り出しておいてください。
- 誤って飲み込むと、胃や腸が損傷します。すぐに医師にご相談ください。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止

感電の原因になります。

⚠注意

ヒューズを交換するときは、指定のものを使用する

火災の原因になりますので、指定外のヒューズは使用しないでください。

航空機内では FM トランスミッターを「切」にする

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

病院内や医用電気機器のある場所では FM トランスミッターを「切」にする

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くでは FM トランスミッターを「切」にする

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

異常に温度が高くなるところや湿気、ほこりの多いところに置かない

機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところに長時間放置したり、ストーブの近くや浜辺など砂の多いところで使用しないでください。

ひざの上などで長時間使用しない

機器の底面が熱くなり、低温やけどの原因になります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量では、聴力に悪い影響を与える原因になります。

ひび割れ、変形、修復したディスクやハート型等の特殊形状のディスクは使用しない

本機の内部で割れて飛び散ると、けがの原因になります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間 8 年

当社は、このポータブル DVD ／ CD プレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

「故障かな！？」(22 ～ 23 ページ) に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
  右記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
製品名	ポータブル DVD ／ CD プレーヤー	品番	DVD-LX89
お買い上げ日	年　月　日		
故障の状況	できるだけ具体的に		

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」
などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。 なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

修理に関するご相談

パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**
FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

窓口	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

窓口	所在地	電話番号
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎(018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

窓口	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東区東明1丁目8-14	☎(025)286-0180

中部地区

窓口	所在地	電話番号
石川	金沢市横川3丁目20	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)21-0622
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)254-5520

近畿地区

窓口	所在地	電話番号
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	☎(078)796-3140

中国地区

窓口	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音1丁目13-5	☎(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

窓口	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

窓口	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1919-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	天草市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	☎(0997)53-5101

沖縄地区

窓口	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。　0608

さくいん

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。
特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

愛情点検 長年ご使用のポータブル DVD/CD プレーヤーの点検を！

こんな症状はありませんか
- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	DVD-LX89
販売店名	☎（　　　）　—		

ーこのマークがある場合はー

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

パナソニック株式会社　AVC ネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒 571 — 8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQT9102-1MS
F1207ST4120